

三股町の人口

12月1日現在

	前月より
男 6,929人	+7
女 7,799	+8
計 14,728	+15
世帯数 3,852戸	+13

広報みまた

昭和44年

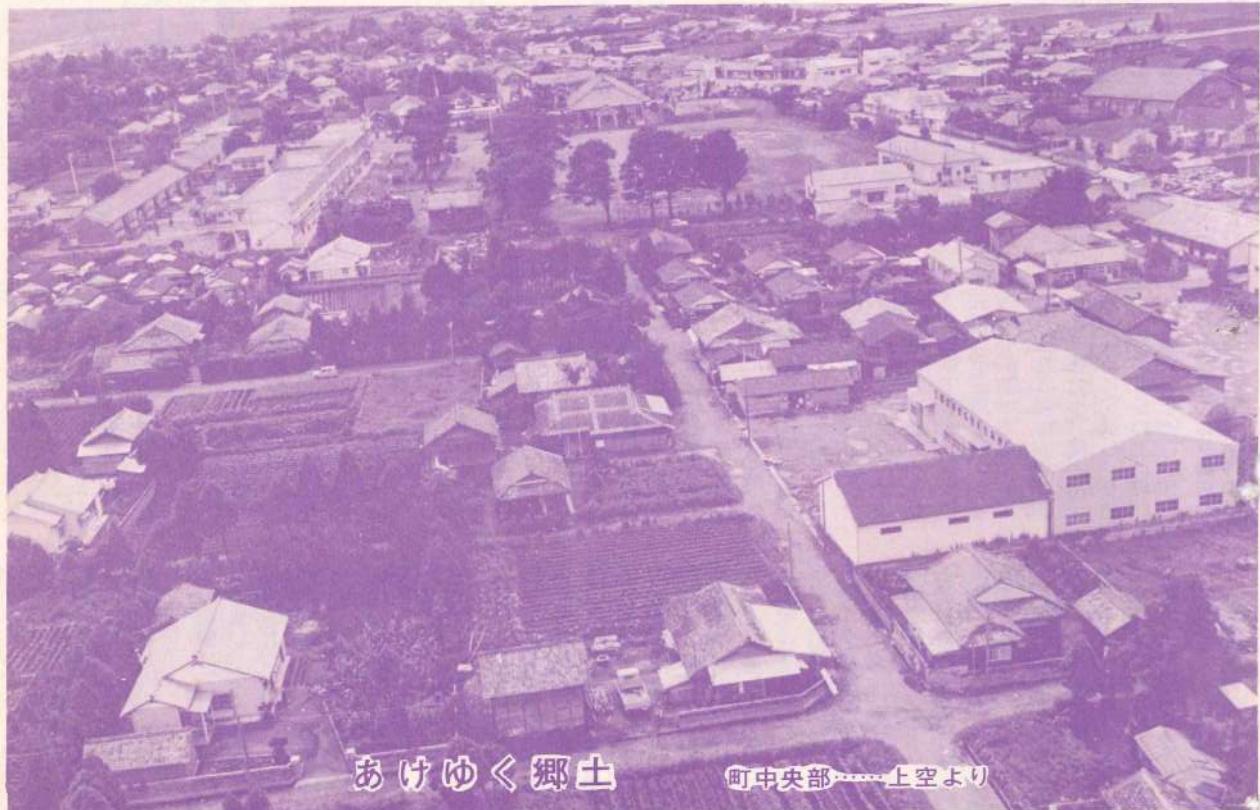
1月号

No. 63

発行 宮崎県北諸県郡
三 股 町
編集 町 長 公 室

賀

正



明けまして

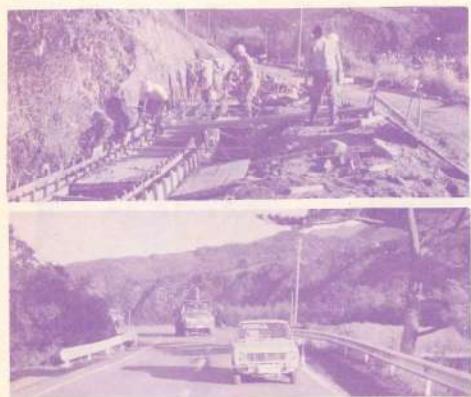
おめでとう

ござります

昭和44年、1. 969年。どなた様もきっとすばらしいお年
を迎えられたことでしょう。

一年の計は元旦にありと申します。今年も、それをお
のれに応じた目標を立て、心を新たにして第一歩をふみ出
しましょう。

そして明るく、楽しく、健康に。



都城北鄉線

卷之三

こんなになります

二年以内に完全舗装化

前文を續く

舗装され、又長田小附近約

おおきな道として、
電線を整備し、二級國
の規範とて、
です。められ
ります。
岐城北郷線の町
長延長は十八。
頗るあります。
間隔から規
では早くから
す。

壁とうに しかも美しく

私たちは、こんにち「川
のはんらん」という言葉は
引き続いて大繁榮橋以東二
百七十二戸を第一工区山領

秋のしおり

高橋川改修は國の要請で
受けて県が施行しますが、
これは昭和四十一年度から
遂次すすめられて川上の方
七百四十尺がすでに終って
おります。

橋を這ひながら人の往来
に変りつゝある高畠川をな
がめて、しばし足をとめ、
「これは大したものだ、も
つたいねごたい」と目を丸
くしております。

果して

近ごろは、古い迷信的なことを真正面に考える人はだんだん少なくなりました。が、いずれも手に根柢のないところで、近代社会においては、当然のことです。

ところが、いまだに、やれ大安だ、仏滅だ、年回りがよくない、などと素外しつぶやくことだらわなことが多いこと

昔から、男は二十五歳、四十二歳、六十歳が、女性は十九歳、三十三歳、四十四歳で死んでしまうといふのが、人ごとにならぬ

る今時代に迷信にこだわるのは全く無意味ではないでしょうか。その迷信の一つにして、年々あります。

やく年

やっかみ的な事件がおこること
いわれてきました。
これは、そうした年令をもつて
迎えた人の状態を統計的に
みた場合には死亡率も高く、
また社会的影響が多ます。
これがだいたいわれています。
もう一つのことは、平均寿命がひましたので、
やく年の年令を多少自己責任の
必要があるからです。

前後でそるんが早く新がもてどきたいことをなんをなです。で寝こそそないくてや

は四十二歳は、精神的、肉体的な転換期といわれ、男性の四十歳、女性の四十五歳といふ、社会的な「男女」としての責任と、男女ともにむすかしい年命と、どうなことができるぞうです。

昔から、やく払いの風習がありましたが、それが気をもむならうそれもないでしよう。いつれにしても人生のポイント、ポイントをうまく乗り切ることを、この新しい年を迎えたいときに、考へることは決して無駄なことであります。

いよいよ新学期

八日から学校は三学期に入ります。

お正月に始まるこの学期は、四月の学年の最初めと違つた、大切な意義があつた。三月の卒業、進学、就職などは、社会的な「男女」としての責任と、男女ともにむすかしい年命と、どうなができるぞうです。

44. 1. 1

ことしこそ、子どもの 交通安全を



子どもの交通事故防止については、国をあげてその対策にやっさきになつております。にもかかわらず、相変らず増加の一途をたどっております。

とばでは言いつくせません。
　こどもを交通事故から守るために、家庭ではどんなことに注意すればよいでしょうか。次のことはとくに留意したい点です。

①こどもの交通事故は、土曜日の午後と月曜日において、こりやすいということです。これは、土曜日は一週間の緊張から解放されて、

胃と肝臓の消化器をいい、めぬいたわけですから、これに十分休養を与えることが大切です。従つて、消化しやすいパン、おかゆ、煮うどんなどを主にして、適宜健胃剤とか強肝剤、ビタミン

始のころ。
もち、肉、魚、菓子とい
づれもかなり胃に負担のか
かるものが多いので、お酒の
場合と同じく、まず胃腸を
を休めることができます。

お正月には松竹梅が大変
めでたい木として珍重がられておりますが、なぜめでたいとされているのか調べてみましょう。

松は一年中、青々として何千年もの風雪にたえて生きつづけるからといわれます。

竹はだけ高く、すくすくと成長すること、その幹はいつも青々としていて、色を変えないとから、おめ

年賀状の整理は十日ごろまでにすませましょう。あるいは友人、知人の住所変更もあつたことと思します。よい機会ですので、今後のためには住所録を作つておきましょう。

年賀状の
整理は早めに

整理は早めに

でたいときれであります。
梅は寒中にもかわらず
諸木に先立つて花を咲かせ
ることから、おめでたいと
されております。

消して、さらに寝る前に点

炭火やたき火で炊事する
家庭では、残り火を窓全て

つかり心にとめておきまし
よう。

早めに

る注意力がおもむかにならないためでしよう。

家族全体で話し合ひ必要があります。
ことしこそ一人の儀式考
も出さぬように誓い合いま
しょう。

わが家の火の元をもう一度点検しましょう。
夜おそらくまで起きている受験生の室は、ぜひ見廻つてあげてください。うただ

検しましよう。
プロパンは、元せんをしつかり止めておきましよう
こたつの火、あんかの火も火災の原因になります。

火の用心をもう一度

う一度☆

注意力が散漫になつていろいろなことが原因のようです。また月曜日に多発するのは、日曜日の遊び過ぎで疲れてしまななどが原因です。

がたいのに、もう一人の重みが加わるので、乗っていて、ハンドルをよろめかせたり、時には、ふさげ合ったりして事故にあっています。

う。一通りの接待が終った後、
ら一日ゆっくり休養して早
くこの疲れを追い出すこと
です。また家族のかたたち
も、協力してできるだけ主
婦の負担を少くするようにな
ることです。

り、かつらをかぶつたりしたため、肩がこつたり、身體がだるくなったりします。早くふたんの身軽さにかえって、体操やナワとびなどで、筋肉の緊張をときほぐすようにしてください